

令和6年度 第2回恵庭市救急医療対策会議記録

日 時：令和6年10月31日（木） ※返信期日

場 所：書面による開催

（委員）貝嶋会長、小川副会長、福原委員、石川委員、江川委員
安保委員、横道委員、海老委員、伊東委員

（市）保健センター長、保健課長、
保健予防担当主査、スタッフ

※各委員へは会議資料を送付し、10月31日（木）までに意見等を求めた。

協議事項は下記のとおり。（※委員全員が「本事業の予算化に賛成」との表決結果となった）

◎協議事項

【1】救急安心センターさっぽろ事業への加入について

◎委員からの質問・意見については下記のとおり

【1】救急安心センターさっぽろ事業への加入について

A委員

救急安心センターさっぽろ事業への参加は良いことだと思います。
市民への周知、活用の活発化が課題と思います。賛成です。

B委員

24時間医療相談が出来ること、外国人も利用できる多言語対応となっており、
夜間・休日急病に大変メリットがある。参加してください。

C委員

事業の予算化には賛成ですが、たくさんの自治体が加入すると、つながらないという
事態にならないか不安があります。

また、国の特別交付税措置は初年度のみなのでしょうか。いずれは市で全額負担すること
になるのなら、いつかは千歳市のように独自のサービスシステムを構築することを目指す
など、市民が利用しやすいサービスだとありがたいです。

事務局

ご意見ありがとうございます。

国の特別交付税措置につきましては、制度に変更等がなければ初年度のみではなく次年度
以降も措置対象となっております。今後におきましても、国の交付税措置等を活用しながら
より一層、市民の方が利用しやすいサービスを提供できるよう努めて参ります。

【2】その他

C委員

24時間365日、救急医療相談を受けられるのはとても心強いです。
ありがとうございます。

いのちの電話のように「つながらない」とならないことを期待しています。

以上